



上末っ子

令和8年5月25日

6月号

横浜市立上末吉小学校

～ 学び合い みとめ合い 一人ひとりが輝く上末っ子 ～

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamisueyoshi/>



学校ホームページ用 QR コードです。学校の様子をご覧ください。

学校と家庭との連携

校長 小泉 博史

日々教育活動を行うにあたり、教職員はたくさんの準備をしています。行事があれば何か月も前から担当が提案して会議にかけ、教職員全員で検討し運営します。毎日の授業についても、子どもたちの「わかった!」「できた!」の輝く顔を想像しながら教材を研究し、準備したり、展開を考えたりを毎日行っています。教科・領域の学習だけでなく、生活力、行動力等も身に付けられるように様々な手立てを考えています。教職員は子どもたちという集団を育てるプロなのです。その力をさらにつけるべく、研修を受けたり、研究会に参加したりしています。すべては接する子どもたちのよりよい成長、輝く笑顔のためです。

集団生活においては、子どもの中でも様々な問題が生じます。教職員は、問題解決のために子どもたちに正しい方法を教えたり、反省を促す指導をしたり、子どもと一緒に解決法を探ったりします。子どもたちは、やがて大人になり自分の力でこの社会を切り拓き、生き抜いていかなければなりません。その力の基礎を養うのが小学校生活だと考えています。そして、その際に、一番頼りになるのは保護者の皆様です。何かあった時、わが子のこれからを考え、学校と同じ歩調で考えてくださる保護者の皆様がいるおかげで、子どもたちは自分の行動を正しく振り返ったり、反省したり、時にはその正しい行動に価値を見出したりできていると思っています。

子どもの教育は、学校だけでできるものではありません。家庭のしつけや教育、地域や社会の影響そして学校が連携してこそだと思えます。

地域からお叱りを受けることがあります。学校外の話ですが、教職員はその訴えに応じて、子どもから事実の確認をし、指導します。そして、ご家庭にもお伝えし、改善できるようお願いをします。このようなことがうまく連携すると、子どもは二度と同じ失敗はしなくなります。

学級内で起こる様々な出来事に対しても、学校からご家庭にお伝えする場面がたくさんあります。そのような場面においても、保護者の皆様が事実を受け止め、理解を示し、お子さんときちんと向き合い話をしてくださることで、より良い姿に改善していきます。

先日、21年前に小学校を卒業した子どもたちの同窓会に呼ばれ出席してきました。その時のやんちゃだった男の子数名が、「小学生の時、先生にたくさん怒られたおかげで今があります。」「親にもすごい怒られたし。」と言われました。もちろんお世辞でしょうが、確かによく叱っていました。保護者の方にもよく連絡を取っていました。保護者の方々も私の話をよく理解し、聞いてくださったのを覚えています。懐かしかったことと、立派になった教え子達の姿を見てうれしいひと時を過ごしました。

子どもの健全育成に大事なことは、学校と家庭が信頼し合い、子どもの本当の姿を共有し合い、共に同じ方向を向いて指導していくことだと考えます。ぜひ、これからもコミュニケーションをしっかりとりお互いに信頼し合える関係を作り子どものために共に協力していただきたいと存じます。

上末吉小学校よこはま学援隊メンバーを募集します！

登校時の児童の通学路中の横断歩道の安全指導を行ってくださる「よこはま学援隊」のメンバーを募集しています。場所によって時刻も違いますが、朝8時前後の短い時間です。ご協力いただける方は上末吉小学校までご連絡ください。

上末吉小学校 担当：副校長 上田（うへだ）

TEL：045-571-1616